

# 市政運営に対する施策取組み

---

“**住みよさ県内ナンバー1 下野**”  
の実現に向けて



# 主要施策となる**6**つの柱

行財政改革の断行

協働の  
まちづくりの推進

医療・福祉政策の  
さらなる充実

創造性豊かな  
まちづくりの推進

安全・安心な  
まちづくりの推進

教育環境・  
文化施設等の充実

# 1. 行財政改革の断行

市の将来像を見据えた財政の健全性の堅持

- ・ 迫りくる合併特例期限
- ・ 国や地方を取り巻く厳しい財政状況

- ・ 総合計画
- ・ 行政改革大綱
- ・ 長期財政健全化計画 など



着実な取組とさらなるコスト意識

県内トップクラスの財政健全化の維持



## 2. 協働のまちづくりの推進

地方分権 個性豊かなまちづくり

- ・ 市民と行政と議会 手を携え知恵を出し合う
- ・ 多種多様な地域の課題
- ・ 下野市自治基本条例 ・ 市歌の制定
- ・ 男女共同参画社会推進条例
- ・ 下野市環境基本計画 など



地域の力で地域の課題を解決する  
「協働型社会」をつくりあげる

### 3. 医療・福祉政策のさらなる充実 人に対する直接投資

- ・ 少子高齢化 ・ 未婚率の上昇や晩婚化
- ・ 子育ての不安 ・ 障がい者が参画しやすい社会

- ・ 子どもへの医療費施策の拡充 ・ 福祉施設の整備・充実
- ・ 不妊症・不育症対策の拡充
- ・ 「休日夜間救急センター」の早期設置



「子育てが幸せ」の実感  
住み慣れた地域での社会参画



## 4. 創造性豊かなまちづくりの推進 魅力ある地域社会の創造



- ・ 人口減少による定住者の減少
- ・ 農業の担い手不足
- ・ 産業と雇用の創出
- ・ 地産地消、6次産業化の推進
- ・ 「しもつけブランド」を活用したシティーセールス
- ・ 「(仮称)企業連携協議会」の設置
- ・ 「産業振興計画」の策定
- ・ 新規就農者支援



↓  
交流人口、定住者の増加 人や企業に選ばれる産業環境づくり

## 5. 安全・安心なまちづくりの推進

「自助、共助、公助」による住み慣れたまち

- ・ 災害・犯罪発生への不安
- ・ 空家の増加・市民の足となる公共交通

- ・ 自主防災組織の育成
- ・ 防犯カメラ設置や街路灯のLED化
- ・ 他自治体や民間団体との災害時相互応援協定の締結
- ・ 老朽空家対策の推進
- ・ 住宅新規取得時の支援
- ・ 近隣自治体と連携した「デマンド交通」導入の検討

災害に強い地域社会

安全・安心・快適に暮らすことのできる住環境の創造



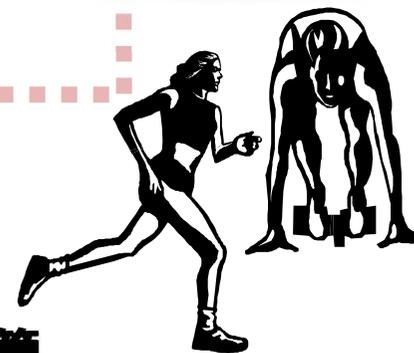
## 6. 教育環境・文化施設等の充実

未来を担う子どもたちは、かけがえのない宝

- ・ 子どもたちの学習環境への取組
- ・ 地域に根差した文化の振興

- ・ 小中学校の耐震化
- ・ 全教室への空調設備の設置
- ・ 文化施設の整備に向けての検討
- ・ 「栃木県立しもつけ風土記の丘資料館」の市への移管
- ・ 大松山運動公園のスポーツ拠点化

心豊かで潤いのある生活  
魅力と活力ある地域社会の創造



# こんなにすごいぞ下野市！～栃木県下野市の魅力・実力ランキング～

## 市勢概要

面積：74.58 km<sup>2</sup>（県内市で最小面積のコンパクトシティ）

人口：60,243人（平成26年9月末日現在）

シンボル：市木（けやき）、市花（ゆうがお）、市鳥（うぐいす）

誕生日：平成18年1月10日（南河内町、石橋町、国分寺町が合併し誕生）

交通：小金井駅、自治医大駅、石橋駅の3駅を有するJR宇都宮線で、都心（約85km圏）まで快速等で約70分の通勤圏（小山駅から新幹線利用で約40分）

国道4号、新4号国道、国道352号、市北部を横断する北関東自動車道などアクセスに便利な交通網



下野市の「下」の文字をモチーフに、豊かな自然環境とともに健康で明るい都市の発展する姿を表現

## 「下野市ゆかりの人」（順不同）

- 佐藤功一（建築家:1878～1941／早稲田大学大隈講堂、日比谷公会堂、栃木県庁舎昭和館など）
- 小平重吉（政治家:1886～1960／元栃木県知事（初代公選知事））
- ザ・たち（お笑い芸人:1982～／角田拓也・和也の双子兄弟、代表ギャグ「ちよっと！ちよっとちよっと！」）
- 下毛野朝臣古麻呂（貴族:不明～709／下野薬師寺建立、藤原不比等らと共に大宝律令を編さん）
- 高藤直寿（柔道家:1993～／平成24・25年柔道グランドスラム東京大会優勝、平成25年世界柔道選手権大会優勝）
- 落合英二（元野球選手:1969～／中日ドラゴンズ投手）
- 近藤洋一（音楽家:1977～／バンド・サンボマスターのベーシスト、代表曲「世界はそれを愛と呼ぶんだぜ」）
- 岩瀬銚太郎（剣道家:1895～1987／県内屈指の道場「養心館」創設者で範士8段。元吉田村長、初代南河内村長）
- 小川政次（伝統工芸士:1930～／栃木県無形文化財、栃木県文化功労者）

## 「下野市の見どころ」

- 下野薬師寺跡（国指定）…天武天皇の白鳳時代に、下毛野朝臣古麻呂によって建立されたと考えられている。日本三戒壇（畿内の東大寺、九州の筑紫観世音寺、東国の下野薬師寺）の一つ。戒壇とは僧侶の資格を得るための場所で、東京大学のような格式の高い大学。
- 下野国分寺跡（国指定）…奈良時代の741年に聖武天皇の詔（みことのり）によって全国60数か所に建てられた国立寺院の一つ。七重塔があったと考えられ、東京ディズニーランドのシンデレラ城と同じくらいの高さ。
- 下野国分尼寺跡（国指定）…下野国分寺跡の東方約600mにあり史跡公園として整備。全国の国分尼寺で最初に整備が行われた。全国でも珍しく国分寺と国分尼寺の跡地がはっきり見つかっている。
- 小金井一里塚（国指定）…江戸時代の五街道の一つである日光街道沿いにつくられた一里塚で、江戸（東京）日本橋から22里（約90km）の地点にある。二つの塚がほぼ完全に残っており、日光道中で唯一国指定史跡に指定されている。
- 児山城跡（県指定）…鎌倉時代の終わりに宇都宮城の南方を守るために築城され、約300年にわたって存続。現在も本丸の堀と土塁が残っている。
- 道の駅しもつけ…平成23年3月にオープン。関東「道の駅」連絡会が平成24年度に行った「好きな道の駅アンケート」で関東第3位。
- グリムの館…ドイツのレッチェンゲン庁舎をイメージし、外壁レンガや屋根瓦、窓枠や照明器具等はこだわりのドイツ製品。世界に3点しか現存しない貴重なグリム兄弟のエッチング版画やグリム童話の初版本などを展示。
- 自治医科大学附属病院…地域医療の精神と技量をもった総合医を養成する自治医科大学（全都道府県により共同設立された私立医科大学）の附属病院。日本の先進医療を支える大学附属病院。
- 祇園原の松林…祇園原の国道4号線東側にある約1000mの松林。樹齢100年を超えるアカマツが立ち並ぶ様子は、心を和ませる貴重な景観。

## 「下野市の優れた伝統の技」

本場結城紬（ユネスコ 無形文化遺産登録）

平成22年11月にユネスコ無形文化遺産に登録され、古くから下野市（旧南河内町）、小山市、結城市において伝統的な手工業により今なお生産されている。

石橋江戸神輿（県指定無形文化財）

神輿師の小川政次氏が、旧石橋町を拠点に製作し、普及型神輿の考案開発をされ、業界から高く評価されている。

## 「下野市のイベント」

天平の花まつり…約 450 本の八重桜が咲き乱れる (4 月)、しもつけかんぴょうまつり…イベント盛りだくさん (7 月)、天平の芋煮会…北関東最大級の大鍋 (直径 2.5m) で芋煮 (11 月)、グリムの森イルミネーション…20 万球のイルミネーションが幻想的に光り輝く (12 月・1 月)、天平マラソン大会…親子コースが人気 (1 月)、栃木のかんぴょう祭り…1 月 10 日は「一」と「十」で「干」瓢の日 (1 月)、下野薬師寺跡史跡まつり (3 月)

## 「下野市の誇れる産業」

**かんぴょう生産量日本一 (全国の 47%を生産)**

ほうれんそう (県内 1 位)、ごぼう (県内 1 位)、きゅうり (県内 2 位)、かぶ (県内 2 位)、玉ねぎ (県内 2 位)  
コニシ(株) (住宅用接着剤生産量日本一) (株)栃澤金型製作所 (航空宇宙部品加工技術)

## 「下野市ブランド 特産品」

あぶみ瓦 (菓子)、しもつけ井 (料理※とちぎ元気グルメ選手権グランプリ受賞)、麦焼酎下野 (麦焼酎)、かんぴょう入五色餃子 (惣菜)、干瓢の八幡巻 (惣菜)、下野乃国五千石 (日本酒)、風車クッキー (菓子)、ちぢみほうれんそう (農産物)、かんぴょう (果実加工品)

## 「下野市の交流」

- 高松市 (香川県): 歴史文化交流協定、災害時における相互支援協定…下野国分寺 (旧国分寺町) と讃岐国分寺 (香川県旧国分寺町) は、国分寺を冠した町が全国に 2 町だけだったことから交流が始まった。
- ディーツヘルツタル市 (ドイツ): 姉妹都市提携…昭和 41 年から始まった旧石橋町とドイツの旧シュタインブリュッケン町 (ドイツ語で「石橋」の意) との交流は、同じ名前が取り持つ縁で、獨協医大名譽学長の故石橋長英博士の橋渡しにより始まり、県内最古の歴史をもつ。

## 「下野市あれこれランキング」

- 医師 1 人当たり人口 **第 1 位** (全国 809 市区サステナブル都市調査/平成 23 年 日本経済新聞社)
- 日本全国生き残る街 **第 13 位** (大地震でも生き残る街全国ベスト 50/平成 24 年 5 月 6 日号 女性自身)
- 15~49 歳女性人口 1 万人当たり産婦人科医師数 **第 4 位**
- 小児人口 1 万人当たり小児科医師数 **第 4 位**
- 人口 1 万人当たり一般病床数 **第 12 位**
- 主婦が幸せに暮らせる街 **第 26 位** (月刊誌 aene(アイネ)/平成 26 年 7 月号 学研パブリッシング)
- 成長力 **県内トップ**、民力度 **県内市第 5 位**、財政健全度 **県内市第 2 位**、住みよさ **県内市第 5 位**  
(都市データブック 2014 年版/東洋経済)
- 水道普及率 99.1% **県内市第 2 位** (市町村別水道普及状況/平成 24 年度 栃木県)
- 下水道普及率 72.7% **県内市第 3 位** (栃木県市町村別生活排水処理普及状況/平成 24 年 栃木県)
- 住宅地標準価格 40,000 円/㎡ **県内第 2 位** (平成 26 年地価公示/用途別平均価格 栃木県)
- 男性平均寿命 79.5 歳 **県内第 3 位** (平成 22 年市区町村別平均寿命 厚生労働省)
- 平均年齢 43.4 歳 **県内第 2 位** **若い活力にあふれる下野市**  
(統計指標ふるさとウォッチング/平成 25 年度版 栃木県)
- 心疾患による死亡者数が県内で最少、生活習慣病による死亡者数が県内で 4 番目に少なく健康な下野市  
(統計指標ふるさとウォッチング/平成 25 年度版 栃木県)
- 普通会計年度末基金残高 **県内市第 2 位** 1 人あたり 173 千円/平成 24 年度地方財政状況調査

## 「下野市のユニークな取り組み」

- 下野市児童表彰条例 児童一人ひとりの良さを見つけ表彰し、児童に自信と誇りを持たせ、健全な心身の発達を助長。表彰は、旧国分寺町で全国初の「子ほめ条例」として始まった。
- ファミリエ下野市民運動 地域・家庭・学校が一体となり市民総ぐるみで本市の子どもの健全な成長を図る運動。「ファミリエ」は、ドイツ語で「家族」を意味する。

## 「その他にも魅力がいっぱい」

- 国内初の機織形 (はたおりがた) 埴輪が出土 国指定史跡下野国分寺跡に隣接する甲塚古墳から国内初の機織形埴輪 2 基が出土
- トウサワトラノオが生息 絶滅危惧種 全国で生息地は 2 か所
- 石橋中学校、グリムの館 故黒川紀章氏による設計
- 道の駅しもつけイメージキャラクター (下野市観光大使)「カンピくん」 ゆるキャラ (R) グランプリ 2013 第 147 位
- 鉄道ファンに魅力的なスポットがいっぱい
  - ①市内に 3 駅のほか小山車両センター、宇都宮貨物ターミナル駅があり、撮り鉄が多い。
  - ②小金井始発電車が多い。朝の通勤通学などに便利。
  - ③自治医大駅は、地名以外の名称で珍しい。
  - ④日酸公園には、「けがした電車を助けた電車」として故障車両の牽引等に活躍した電車が保存されている。

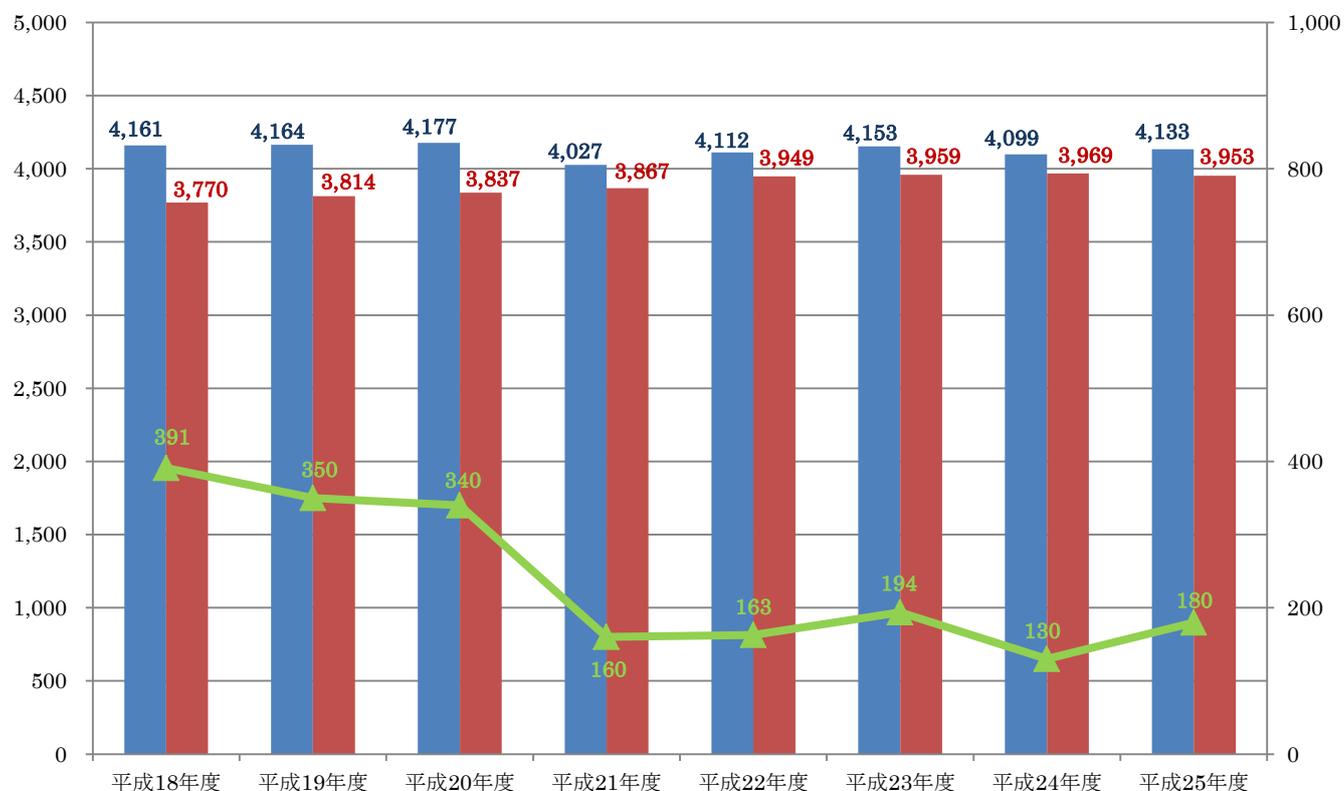


○財政的余裕度の推移（財政的余裕度 = 経常一般財源 - 経常経費充当一般財源）

■ 歳入（経常一般財源） ■ 歳出（経常経費充当一般財源） ▲ 差引（財政的余裕度）

1. 栃木県全体 平成18年度に比して財政的余裕度が約1/2に減少

（単位：億円）

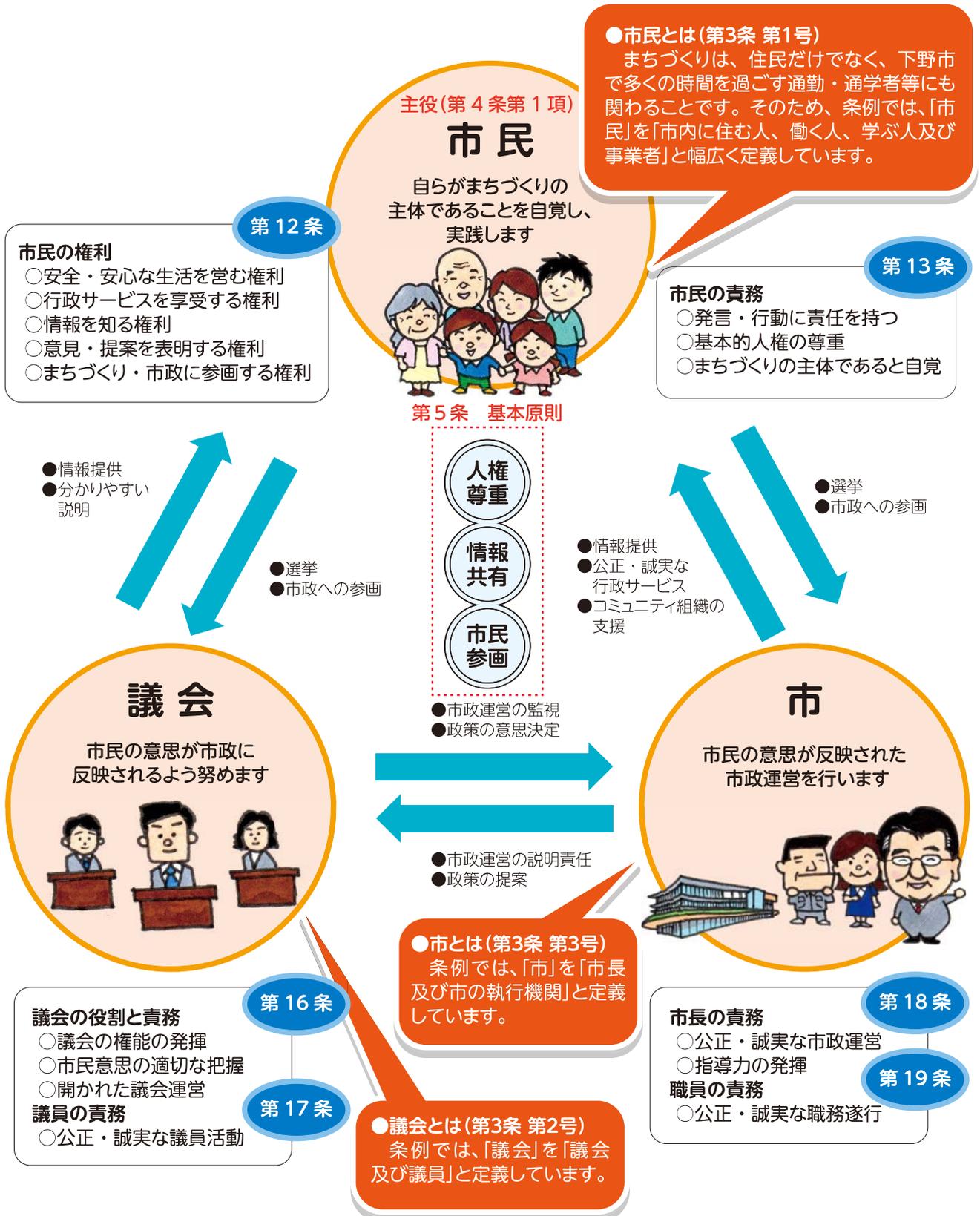


2. 下野市 合併時に比して財政的余裕度が1.8倍

（単位：千円）



# 下野市自治基本条例がめざす まちづくりの仕組み



# 下野市における 学校教育の現状と課題

“地域にふれ、地域を知り、  
地域を語れる大人をめざして”



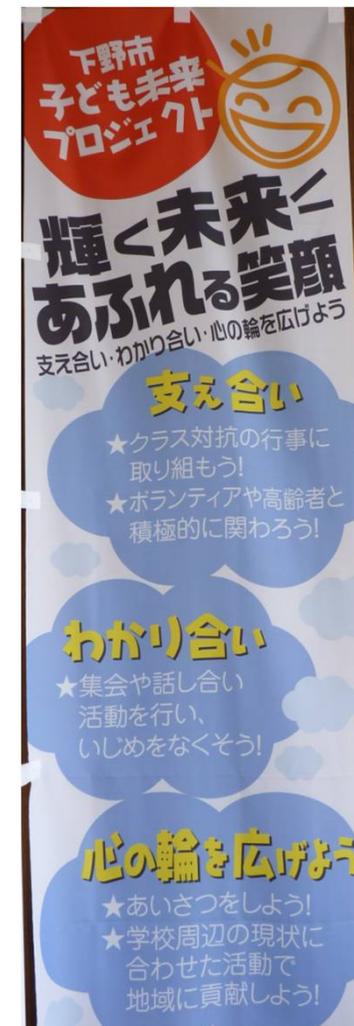
## 子ども未来プロジェクト ①

☆メインテーマ

「輝く未来 あふれる笑顔」

◇サブテーマ

～支え合い・わかり合い・心の輪を広げよう～





# 子ども未来プロジェクト ②

【重点】 ☆ 心の輪を広げよう ☆



【地域へ】

☆ 下野市青少年市民会議との連携

まちづくりへの参画

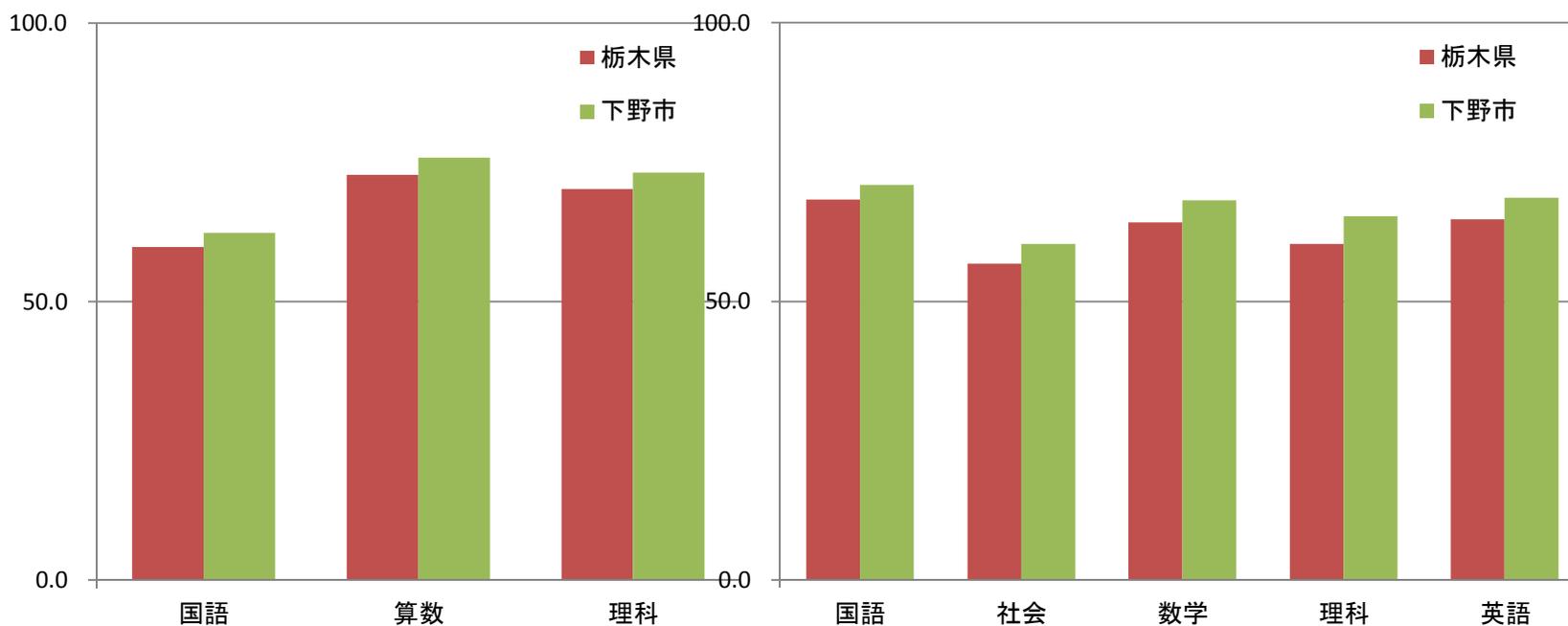
未来へ





# 学力向上に向けた取組 ①

【とちぎっ子学習状況調査】 4月22日(火)



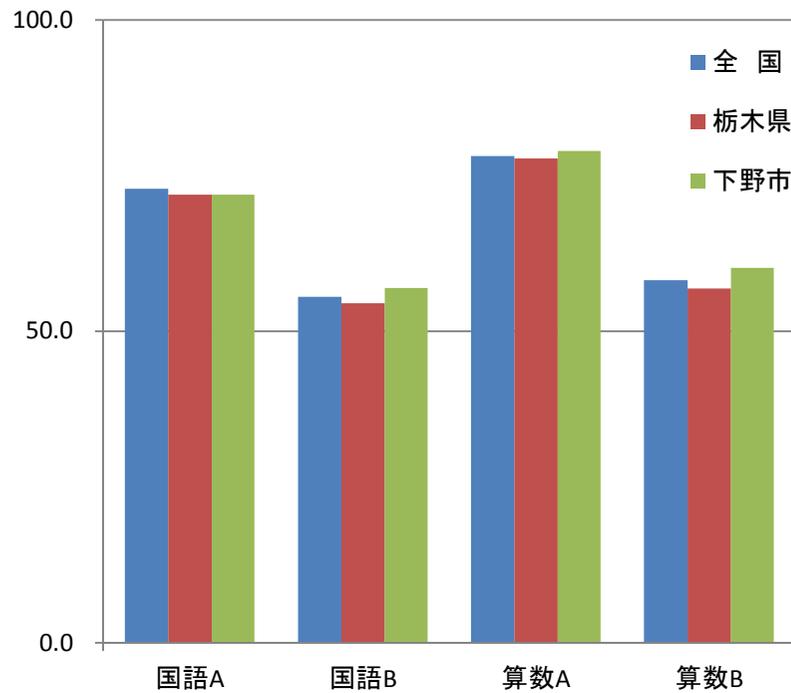
小学校5年生の結果

中学校2年生の結果

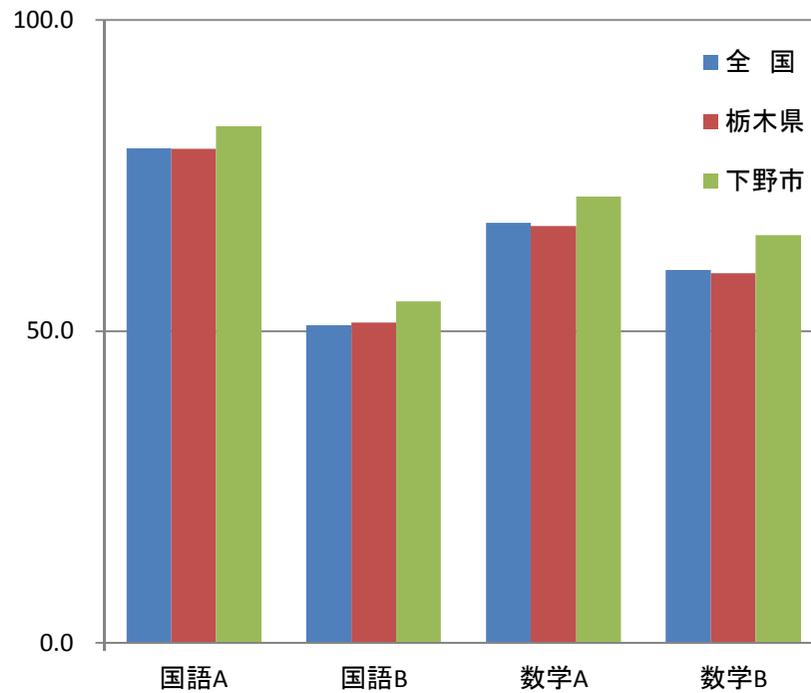


# 学力向上に向けた取組 ②

【全国学力学習状況調査】 4月22日(火)



小学校6年生の結果



中学校3年生の結果



# 教員の授業力向上に向けた取組

## 【研修会の様子】



教員対象の研修会



公開研究授業



実技研修 →



## 下野ファミリエ市民運動

当たり前のことを

当たり前に行おう！

みんなで子どもたちを見守りましょう

1月24日(土)「下野市教育のつどい」

国分寺公民館 午前9時から

ぜひお越しください！

子どもたちの1年間の取組の様子が見られます。

## 事業概要等の説明及び報告

所属 総合政策部 総合政策課

事業名等	公共施設マネジメント基本方針等策定事業
1. 現 状	<p>全国：都市化の進展に伴い経済成長期に集中的に整備された、公共施設が近い将来更新時期を迎えるため、施設の適正配置が求められている。</p> <p>下野市：将来多くの公共施設が老朽化。</p> <p>公共施設 514 棟、総床面積約 18 万㎡</p> <p>市道延長：約 786 km、上水道延長：約 500 km、 下水道延長：約 430 km、など</p> <p>⇒近い将来、大規模な改修、建替えが集中。</p> <p>⇒大きな財政負担が生じる懸念。</p>
2. 課 題	<p>長期的な視点、将来人口や財政状況の見通し、市民ニーズの変化に対応した長期的な計画を策定し、適正な施設配置を検討する必要がある。</p> <p><b>財政の見込</b></p> <p>高齢化による社会福祉費の増大、将来人口の減少に伴う税収の減、地方交付税の段階的な減少等。</p> <p>⇒施設の更新・維持管理の財源不足。</p> <p><b>今後の取組</b></p> <p>市が所有の全ての公共施設等の状況把握、施設の更新・統廃合・長寿命化等に関する基本方針・計画等の策定。</p> <p>⇒財政負担の軽減・平準化を図る。</p>
3. 対応策等	<p>将来の公共施設全体（インフラ、企業会計施設含む）のあるべき姿を検討し、市民（利用者）の意見把握・情報提供を行い、理解を得ながら基本方針・用途別方針をまとめ、更新・統廃合など公共施設の再配置に取り組む。</p> <p><b>26 年度</b>：公共施設等の現状の把握等。</p> <p>施設の維持管理費・利用状況等の調査、利用者アンケートの実施、将来人口・財政状況等の分析</p> <p><b>27 年度</b>：公共施設等の維持管理・更新等に係る「基本方針」策定。</p> <p>施設白書の作成、各施設等の課題整理、「検討委員会」の開催（公募委員や施設利用者等）、市民アンケート実施、パブリックコメント実施</p> <p><b>28 年度</b>：公共施設等の「用途別方針」策定。</p> <p>各施設等の用途別課題の整理、「検討委員会」の開催、数値目標の設定</p> <p><b>29 年度～</b></p> <p>策定する長期計画に基づき、具体的な公共施設の再配置を進める。</p>

## 事業概要等の説明及び報告

所属 総務部 総務課

事業名等	行政組織機構の見直し
1. 現 状	<p>平成28年度の新庁舎開庁に合わせ、新行政組織機構の見直しを行うため、平成24年度に組織機構改革基本方針を制定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 意思決定が明確で、効率的で柔軟性を持った組織</li> <li>② 市民にとって分かりやすく、利用しやすい組織</li> <li>③ 市民から信頼され、頼りにされる組織</li> </ul> <p>の3つの基本方針を掲げ取り組んでいます。</p> <p>平成26年度、新たな行政課題に即応する観点から、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「公有資産活用グループ」を設置（総合政策課内） ⇒公共施設の将来の適正なあり方を検証する。</li> <li>・「児童福祉課」→「こども福祉課」へ課名変更 ⇒市民の利便性の向上を図るため、幼稚園業務（教育委員会）を「こども福祉課」に統合し、窓口の一元化を図った。</li> </ul>
2. 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 自治基本条例に則した組織のあり方を検討する必要がある。</li> <li>② 新庁舎にふさわしい窓口サービスの提供を図る。</li> <li>③ 平成28年度の新庁舎の開庁に合わせた新組織体制へのスムーズな移行が必要となる。</li> </ul>
3. 対応策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 自治基本条例の制定を踏まえ、市民協働による「まちづくり」に特化した課の設置を検討する。</li> <li>② 新庁舎における窓口業務の時間短縮等利便性の向上を図る。</li> <li>③ 新組織への移行にあたっては、市民ニーズに即応する観点から、前倒しを検討する。</li> <li>④ 新組織への周知の徹底を図る。</li> </ul>

## 事業概要等の説明及び報告

所属 市民生活部 生活安全課

事業名等	防災・防犯対策事業
1. 現 状	<p><b>【防災対策】</b></p> <p>①下野市消防団員 451 人、23 部で活動（定員 468 人で欠員 17 人）</p> <p>②自主防災組織 8 組織、19 自治会で結成し活動</p> <p>③災害時相互応援協定は県内全市町と香川県高松市と締結。民間企業等とも物資の提供・輸送協定を締結。</p> <p><b>【防犯対策】</b></p> <p>④平成 25 年度末防犯灯設置数 3,562 基のうち 285 基が L E D 化済み。</p> <p>⑤防犯カメラは J R 3 駅のエレベータ及び同駐輪場に設置済み。</p> <p>⑥老朽空き家は自治会長による実態調査の結果、約 360 件。</p>
2. 課 題	<p><b>【防災対策】</b></p> <p>①消防団員の確保は地域の防災力を高める上で重要な課題。</p> <p>②災害が発生した場合は地域の協力体制が不可欠であり、自主防災組織の設置促進が課題。</p> <p>③大規模災害に対処するため広域的な災害時相互応援協定が必要。</p> <p><b>【防犯対策】</b></p> <p>④防犯灯の電気料と維持修繕費が増大している。</p> <p>⑤防犯カメラは犯罪の抑止等、防犯上の効果が期待できるが、高額な設置費用とプライバシー保護の問題から設置が進まない。</p> <p>⑥老朽空き家は年々増加し、犯罪・災害等のリスクを高めており、その対策が課題である。</p>
3. 対応策等	<p><b>【防災対策】</b></p> <p>①消防団員確保のため消防団協力事業所表示制度等の導入や消防ポンプ車、消防器具置場の計画的な更新。</p> <p>②自主防災組織への支援策として資機材整備や活動費に対する助成。</p> <p>③宮城県亘理町等県外自治体との災害時相互応援協定の締結に向けた準備。</p> <p><b>【防犯対策】</b></p> <p>④防犯灯は E S C O 事業を導入し、民間活用により L E D 化を推進。</p> <p>⑤ J R 3 駅の東西口に防犯カメラを設置。地域団体や商店街等の事業者が防犯カメラを設置する経費に対する助成。</p> <p>⑥国の施策と連携した老朽空き家対策の推進。</p>

## 事業概要等の説明及び報告

所属 健康福祉部 こども福祉課

事業名等	子ども・子育て支援事業計画の策定
1. 現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフスタイルや価値観の多様化などに伴い急速な少子化が進行しています。</li> <li>・子どもが健やかに成長できる社会を目指して平成 24 年 8 月に「子ども・子育て支援法」が成立、平成 27 年 4 月から「<b>子ども・子育て支援新制度</b>」が本格的にスタートします。</li> <li>・今後、子ども・子育て支援事業計画に基づき、幼児期の教育・保育や地域の子育て支援を総合的に進めることとなります。</li> </ul>
2. 課 題	<p>新制度の主なポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「施設型給付」「地域型保育給付」の創設</li> <li>・地域の子育て支援の充実</li> <li>・認定区分の導入:教育・保育給付を受ける場合には子どもの年齢、保育の必要性に応じた認定(1号認定～3号認定)を受ける。</li> <li>・子ども・子育て支援の量・質の充実</li> </ul>
3. 対応策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○下野市子ども・子育て支援事業計画の策定 地域のニーズに基づき幼児期の教育・保育・子育て支援の提供について計画(平成 27 年度から 31 年度)を策定し給付・事業を実施します。 ※ 子ども・子育て会議の開催(平成 25・26 年度) アンケート調査の実施(ニーズ量の把握)</li> <li>○給付制度の導入に伴う条例制定 事業者が施設型給付、地域型保育給付を受けるためには、市の確認を受ける必要があるため関連条例を制定しました。</li> <li>○子ども・子育て支援の量・質の充実 すでに実施している事業の充実を図るとともに、新規事業にも取り組んでいきます。 [平成 26 年度] 幼児期の教育・保育窓口の一本化(幼稚園関係業務をこども福祉課へ) こども医療費助成事業の充実(現物給付対象の拡大) 妊娠サポート事業の充実(不育症治療費助成の開始) 認定こども園の整備支援(市内 2 幼稚園が認定こども園に移行) [平成 27 年度] 利用者支援事業(保育コンシェルジュ設置)の開始 子育て短期支援事業の開始 育児ママ・パパリフレッシュ事業の充実</li> </ul>

## 業概要等の説明及び報告

所属 産業振興部 商工観光課

事業名等	下野市産業振興計画の策定
1. 現 状	<p>○平成18年の合併以降、商工業の振興に係る計画が策定されていない状況であり、計画的な産業振興が必要とされている。</p> <p>○下野市の産業別就業割合は、第1次産業6.7%、第2次産業27.8%、第3次産業65.5%となっており、全国と同様に、第1次・第2次産業の減少と、第3次産業への比率が上昇してきている。</p> <p>○過去10年間において、製造業・卸小売業とも事業所数が減少傾向にあり、対策が必要となってきた。</p> <p style="text-align: center;">本年7月～8月にかけて計画策定に係るアンケート調査の実施を行っており、これらの結果を基に次の課題等の検討を行う。</p>
2. 課 題	<p>○将来人口推計での人口の減少、高齢化</p> <p>○中心市街地空き店舗の増加</p> <p>○商店における後継者不足</p> <p>○市内立地企業の未連携</p> <p>○人材・雇用の確保</p> <p>○自治医科大学と連携した産業振興</p>
3. 対応策等	<p>○今後の予定（第1回6月、第2回9月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題への対応を図り、計画の策定を進める。</li> <li>第3回10月：計画骨子案の検討</li> <li>第4回11月：計画案検討</li> <li>第5回12月： 〃 、パブリックコメントの実施</li> <li>第6回 1月：計画最終案検討</li> </ul> <p>議会報告後、庁議にて計画決定</p> <p style="text-align: center;">にぎわいと活力のあるまちづくりを推進します。</p>

## 事業概要等の説明及び報告

所属 建設水道部 建設課

事業名等	幹線道路大規模修繕事業
1. 現 状	<p>市が管理する認定市道は約786kmありますが、うち1級及び2級と位置づけられた幹線道路は46路線で、約100kmとなっています。</p> <p>これらの幹線道路は、整備後10年以上を経過した路線も多く、近年、物流手段がトラック輸送へと変遷し、大型車通行量の増大に伴い、路面のひび割れなど舗装の損傷が加速度的に進行し、今後、修繕等に要する費用が急激に増加すると考えられます。</p>
2. 課 題	<p>幹線道路は、日常生活は基より災害時における避難所へのアクセスや緊急輸送道路として利用される路線も多くあることから、劣化が進行し、ひび割れ等が発生した場合、通行の安全性が損なわれることとなります。また、厳しい財政状況の中、合理的、効率的な手法による公共財産の維持管理が強く求められており、これまでの損傷が発生してからの対応から、予防保全型の修繕により、維持管理費用の縮減、道路の長寿命化に努める必要があります。</p>
3. 対応策等	<p>今後、増大が予想される維持管理費用の縮減や平準化を目的として、また、効率的に幹線道路を維持管理し、事故を未然に防ぎ安全安心な交通環境を保全するため、平成25年1月に「下野市幹線道路大規模修繕計画」を策定しました。</p> <p>この計画は、1級および2級幹線道路を対象として、舗装路面のひび割れ状況から破損状態を把握するために路面性状調査を行い、崩壊度（ひび割れ率）と路線の重要度により優先度を算出し、修繕優先順位を決定しています。これにより、優先的に修繕が必要になる崩壊度（ひび割れ率）25パーセント以上の路線は約30kmあり、2ヶ年で5路線、約5.5kmについて国の補助事業等を活用しながら修繕工事を実施し、今年度も2路線、約1.4kmについて予定しています。</p> <p>このように、損傷が深刻化する前に計画的な修繕等を実施することにより、道路の長寿命化が図れることから、今後とも予防保全型の維持管理を推進し、安全安心の確保に努めてまいります。</p>

## 事業概要等の説明及び報告

所属 教育委員会 スポーツ振興課

事業名等	大松山運動公園拡張整備事業
1. 現 状	<p>大松山運動公園拡張整備事業については、子どもから高齢者まで市民誰もが、気軽に利用できる公園として、スポーツに親しみ、体力づくりや健康づくりを目的としたスポーツ活動の拠点となる公園を目指し、概算事業費20億円で平成31年度完成に向け推進しております。</p> <p>整備内容は、約6haを拡張し日本陸上競技連盟公認の400mトラックを備えた「陸上競技場」と「サッカー場」を併用するメイン施設を中心に「多目的グラウンド」や「広場」・「園路」等を整備する内容であります。</p> <p>今年度は、基本設計の作成及び事業用地取得に向けた用地測量、物件調査、不動産鑑定を行い、平成27年度からの用地取得に向けた作業を進めております。</p> <p>2020年に東京オリンピックの開催が決定し、市民のスポーツに対する関心が高まる中、2022年には栃木県で第77回国民体育大会が開催されることから、オリンピックのキャンプ地や国体会場としての利活用も視野に入れながら、大松山運動公園拡張整備を進めていきたいと考えております。</p>
2. 課 題	<p>(整備計画) 公園への主要な出入口は、3箇所(東・西・南)を予定しており、南側入口の国道352号の交差点協議が必要となります。</p> <p>(用地取得) ・計画区域(12.68ha)のうち約6haの拡張(対象地権者30名) ・家屋等物件移転 6件</p>
3. 対応策等	<p>(整備計画) 国道352号からの車両進入について、関係機関と調整、協議を進めていきます。</p> <p>(用地取得) 関係地権者の理解を得られるよう、用地交渉を進めていきます。</p>

# 大松山運動公園施設配置基本計画図

